

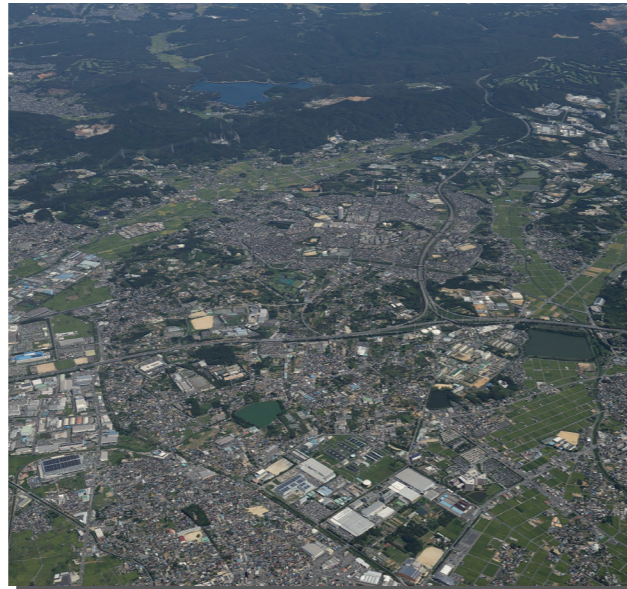


2 新住宅市街地開発事業

● 桃花台ニュータウン

愛知県が名古屋大都市圏の住宅宅地需要に対処するため、良好な居住環境の住宅市街地として大規模な宅地供給を行うことを目的に、小牧市の東部丘陵地(約322ha)において開発を進めてきたもので、昭和46年5月に新住宅市街地開発事業の都市計画決定を行い、昭和47年5月から事業に着手し、その後、社会経済情勢の変化に伴い、昭和53年から平成10年にかけて6回の都市計画決定の変更を行いました。

計画人口約40,000人、計画戸数約10,400戸の住宅市街地を目指し建設が進められ、新交通システム桃花台線やタウンセンターなどの施設も整備され、平成11年3月に事業が完了しました。



桃花台ニュータウン

■ 新住宅市街地開発事業・桃花台ニュータウン(経過)

都市計画決定	昭和46年5月12日	昭和53年4月7日(変更)	昭和55年7月9日(変更)	昭和58年10月21日(変更)	同左	同左	平成10年8月7日(変更)
告示番号	愛知県告示第416号	愛知県告示第416号	愛知県告示第731号	愛知県告示第995号	同左	同左	愛知県告示第597号
認可年月日	昭和47年4月25日	昭和53年12月26日	昭和55年12月26日	昭和59年4月5日	平成2年12月25日	平成8年3月7日	平成11年1月29日
事業内容	区域(ha)	約322	約322	約322	約322	約322	約321.5
	計画人口(人)	約54,000	約47,000	約47,000	約40,000	約40,000	約40,000
	住宅戸数(戸)	約14,500	約12,300	約12,300	約10,400	約10,400	約10,400
	事業期間(年度)	S47~S53	S47~S60	S47~S60	S47~H2	S47~H7	S47~H10



3 市街地再開発事業

小牧駅周辺の環境は、土地区画整理事業により一新されましたが、中心市街地には老朽建物が多く、防災上の危険が大きくなっています。また、モータリゼーションへの対応の遅れ、さらには商業機能の衰退、居住機能の停滞などの諸問題を抱えています。このような状況のなか、小牧駅西地区B街区(注1)では、土地の合理的かつ高度な利用と都市機能の更新を図ることを目的とする市街地再開発ビル(ラピオ)を平成7年秋にオープンしました。この事業により、商業核を生み出し、併せて公共公益施設の充実を図り、都市環境の改善と地域商業の活性化を目指し、市民が集うことのできる楽しいまちづくりを進めてきました。また、小牧三丁目地区において、土地の合理的な高度利用を図り、都市型住宅の供給を目的とした第一種市街地再開発事業につきましても、平成14年12月6日に完了しました。

	小牧駅西地区B街区第一種市街地再開発事業	小牧三丁目地区第一種市街地再開発事業
都市計画決定	昭和60年4月15日(愛知県告示第432号)	再開発促進区域 平成10年8月7日(小牧市告示第56号)
都市計画の変更	平成元年11月29日(愛知県告示第1117号)	—
事業計画決定	平成4年10月22日	平成11年6月25日
権利変換計画認可	平成5年2月15日	平成12年5月19日
完了公告	平成7年9月20日	平成14年12月6日
面積	1.6ha	0.4ha



小牧三丁目地区
施行前



施行後

	小牧駅西地区B街区第一種市街地再開発事業	小牧三丁目地区第一種市街地再開発事業	
施行者	小牧市	個人(8名)	
施行地区の区域	小牧三丁目及び四丁目の各一部	小牧三丁目の一部	
施行地区の面積	約1.6ha	約0.4ha	
公共施設の概要	幹線街路(3.4257小牧駅前線) 幅員20m 延長約110m	区画道路(町3号線) 幅員16m 延長約56m	
	区画道路(7.5251上之町線) 幅員12m 延長約200m	区画道路(小牧2丁目9号線) 幅員9m 延長約59m	
	市道小牧原新田北外山線 幅員約13m 延長約110m	区画道路(小牧3丁目1号線) 幅員12m 延長約46m	
水路			
緑地	面積 約60㎡		
施設建築物の概要	建築敷地面積	約9,863㎡	約1,090㎡
	建築面積	約7,373㎡	約740㎡
	建築延面積	約49,179㎡	約4,550㎡
建築物形態の概要	主要構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨鉄筋コンクリート造
	階数	地上5階、地下2階	地上11階
	高さ	約32m	約24m



市街地再開発ビル(ラピオ)

注1) 第四次小牧市総合計画(1991~2000年)の中で、中心市街地整備計画としてA~E街区を設定したものの。